

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト） 交付決定事業一覧（令和8年度第3回交付決定）

団体名			事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	福井県	福井市	次世代型学生シェアハウスによる地域共創モデル事業	47,000 国費： 35,250 地方費： 11,750	94,000	福井銀行 福井信用金庫	- 令和6年の北陸新幹線福井開業もあり、官民が連携して、再開発事業等のまちのにぎわいづくりの取組を進めてきた。 - しかし、中心市街地の居住人口は減少傾向にあり、若年層割合や若者の定着率は低く、若者の県外流出が続いている。 - 令和9年度、福井県立大学が福井まちなかキャンパスを開設予定であることから、この機会を最大限に活かし、まちのにぎわい創出と地域経済活性化を図りたい。	- 学生シェアハウスを整備・運営するとともに、大学や企業と連携した人材育成等を行う。 - 建物や家具には地域木材を活用するほか、福井県立大学の輸入品目の県産化プロジェクトで開発した農水産物や加工品など、地元特産品の無人直売を行う。 - 入居者には、定額で商店街加盟店等の商品購入やサービス利用ができる共同販促事業「ふくとく」のサービスを提供し、地域交流の促進、地元愛の醸成、経済活性化を図る。 - 大学や企業と連携した講座やイベントにより人材育成を行うとともに、学生と企業の接点を作り、新事業の共創、地元産品を活用した新商品開発など協働プロジェクトを創出。	- 地元特産品販売や共同販促事業を通じて、商店街や農産物の利用機会が拡大され、地域経済が活性化 - 学生と地域との交流促進、地元愛の醸成、企業との接点を作ることにより、地域コミュニティの強化、若者定着率の向上 - 学生の新しい視点やアイデアにより、地域のイノベーション創出、産業振興
2	石川県	能登町	里山里海の恵み！能登海洋深層水を活用した干し芋加工事業	25,000 国費： 18,750 地方費： 6,250	25,000	興能信用金庫	- 能登半島では、平成23年に「能登の里山里海」が日本初の世界農業遺産に認定されているが、令和6年能登半島地震の影響もあって離農が加速し、耕作放棄地が増加している。 - 能登町ではサツマイモ栽培が広がる一方、生鮮野菜としての出荷が中心であり、加工による高付加価値化が進んでいない。	- サツマイモの熟成・加工設備を整備し、能登海洋深層水を活用した干し芋の加工・販売事業を行う。 - キュアリング貯蔵及び海洋深層水により、甘味・食感・保存性を高めた無添加の干し芋を開発し、高付加価値化した「能登干し芋」ブランドの確立を目指す。	- サツマイモの栽培・増産による耕作放棄地の活用、生産者の所得増 - 農産品を高付加価値化した新たな特産品の開発・地域ブランドの確立による、地域のPR・地域外からの外貨獲得 - 新産業の創出による地域経済活性化を通じて、能登半島地震からの復興を加速化
3	兵庫県	高砂市	カフェを活用した地域産品の発信と新規ビジネス創出の拠点整備事業	50,000 国費： 25,000 地方費： 25,000	100,000	但馬信用金庫	- 高砂市は、臨海部での工業を中心に発展してきたが、中小事業者や地域産品の魅力を発信する場が不足し、販路開拓や事業拡大につながりにくい状況にある。 - 創業者同士のコミュニケーションや異業種交流の場が少なく、商業を中心とした新規創業者の創出が十分に進んでいない。	- 国の登録有形文化財である建物（築90年超）を活用し、創業希望者を店主とするカフェや、創業者シェアオフィスの設置・運営等を行う。 - カフェでは、地元農産品を使用したメニューの提供や、地域の特産品や銘菓の展示販売を行う。 - デジタルサイネージや製品展示により、市内事業者の製品や企業紹介を行うほか、人手不足解消に向けた人材マッチング支援を行う。	- 地元農産品の活用や地域産品の展示販売による、生産者や事業者の収入・売上の増加 - 新規ビジネス創出の支援により、産業の振興、新産業の創出が期待される。
4	奈良県	葛城市	五感で楽しむウェルネス・ライフスタイル農園事業	34,290 国費： 17,145 地方費： 17,145	51,440	南都銀行	- 葛城市は、豊かな農地が広がる地域であるが、農業人口の減少と高齢化が深刻化し、耕作放棄地の拡大や、防災・景観保持の課題が生じている。 - 観光需要は増大しているが、滞在型観光コンテンツが不足しており、消費が限定的な通過型観光に留まっている。	- ブランドイチゴ「古都華」の観光農園を整備し、アグリヒーリングや食農教育を行う。 - イチゴや自社で生産するハープなどを活用したデトックススムージーの開発・販売、腸活ワークショップを行い、農業に健康増進という付加価値を加える。 - 道の駅「かつらぎ」、相模館「けはや座」、老舗酒造「梅乃宮酒造」との共同企画による周辺観光を推進し、地域全体の集客効果を高める。	- 農産物直売やファームカフェ、周遊ルートとの連携により、地元事業者や観光施設への経済波及効果を創出 - 教育機関との連携や地域体験学習を通じ、農業・自然・食文化への理解と地域愛を造成 - 農業体験やワークショップを通じ、訪問者が地域に関わる機会を創出し、関係人口の拡大を図る。
5	広島県	世羅町	ご当地プロレスを核としたせらファン創出事業	16,542 国費： 11,028 地方費： 5,514	17,400	広島銀行 日本政策金融公庫	- 四季の花など豊かな自然がある世羅町には、年間220万人の観光客が訪れるが、宿泊・飲食を伴わない通過型観光が主流であり、宿泊需要を喚起するコンテンツが不足している。 - 町内の空き家は急増（H29:1,095戸→R5:1,750戸）しており、住居用だけでなく、地域経済を牽引する事業用の活用が求められている。	- 町出身の元プロレスラーが設立するご当地プロレスを核とした町おこしとして、空き家を活用した道場（プロレスラー養成所）兼民泊施設の整備を行う。 - 町外からのプロレスファン、観光客、移住希望者等に対して、観光宿泊や合宿プランを提供し、地元食材（松きのこや高原野菜）を活用した食事を提供。 - 地域の事業者と連携し新ブランドを立ち上げ、地元農産物加工品、ワイン、日本酒などの地元特産品を宿泊施設やECサイト等で販売する。	- ご当地プロレスの情報発信力により、町の知名度向上、訪問者や関係人口の増加が期待される。 - 滞在時間の増加による地域経済活性化。 - 地元食材の活用や地元特産品の販売拡大により、生産者や加工事業者の所得・売上の向上。
6	香川県	土庄町	リトリートメントと体力メンテナンスプログラムによる健康寿命延伸型施設整備事業	35,000、うちR8:3,310 国費： 23,333、うちR8:2,206 地方費： 11,667、うちR8:1,104	52,500	香川銀行	- 土庄町の高齢化率（43%、R2国調）は全国（37%、同）を上回り、医療・介護需要は年々増加。離島という地理的制約を踏まえると、医療供給の拡大は難しく、健康寿命の延伸による医療需要の抑制が必要。 - 観光が町の基幹産業であるが、日帰りの滞在も多く、地域への経済効果は限定的であり、観光コンテンツの充実や宿泊による滞在時間の増加が求められている。	- 食習慣改善と運動習慣化を組み合わせたプログラムを提供する健康増進事業と、島外からの来訪者向けの宿泊事業を行う。 - 小豆島産の食材や発酵食品を使った調理体験・食事提供、豊かな自然で行うヨガやピラティスにより、食習慣・健康習慣を定着化させる。 - 島外からの来訪者には、関係性の継続や、再訪を促すため、オンライン講座の実施、小豆島産の食材や加工品の通販を行う。	- 健康寿命の延伸による医療需要の抑制 - 滞在時間の増加による地域経済の活性化、関係人口の拡大・移住促進 - 地元食材や発酵食品の活用による生産者や事業者の収入・売上増加
7	熊本県	熊本市	熊本市河内町における地域資源循環型ペットリゾート「河内ワンダーランド」地域交流拠点整備を核とした地域活性化事業	50,000 国費： 25,000 地方費： 25,000	100,000	日本政策金融公庫	- 熊本市河内町では高齢化率が45%を超え、域内での消費活動と交流人口が減少し、地域経済の縮小やコミュニティの希薄化が進行している。 - 農水産物やジビエ等の地域資源の活用は限定的であり、高付加価値化や販路開拓が進んでいない。	- ペットをきっかけとした自然交流の場づくりとして、ペット同伴型の宿泊・飲食・物販機能を備えた地域交流拠点を整備・運営する。 - ペット同伴型のカフェでは地元農水産物を活用した軽飲食の提供や、地域特産品の販売を行う。	- 地域経済や地域コミュニティの活性化 - 地元農水産物の活用による生産者の収入増加、高付加価値化による経済効果の拡大 - ペットをきっかけとした来訪者の増加、関係人口の拡大
8	鹿児島県	薩摩川内市	入来武家屋敷リノベーション事業	45,000 国費： 22,500 地方費： 22,500	90,000	鹿児島相互信用金庫	- 薩摩川内市の入来（いりき）地域は、温泉や武家屋敷群などの観光資源があるが、飲食や宿泊施設が少なく、観光客の滞在時間は短い傾向がある。 - 観光客のニーズを踏まえた滞在型観光を推進し、地域経済循環の創出と、歴史的景観の保全・文化継承を図っていく必要がある。	- 入来麓（いりきふもと）武家屋敷群にある築120年の古民家をリノベーションし、滞在型観光の拠点施設として宿泊事業と飲食・カフェ事業を行う。 - 地元食材（黒豚、うなぎ、きびなご等）を使った料理の提供、武家屋敷群での甲冑体験・散策ツアーなど、地域の食や文化を体験できるプランを提供。	- 観光客の滞在時間と消費の増加により、経済循環を創出 - 歴史的建造物の保存や活用を通じて地域景観を守り、観光資源としての持続的な価値を高める。 - 地元人材の雇用創出、生産者や地域事業者との連携により、観光を軸とした地域活性化が期待される。